



## 伝統芸能文化「岩戸神楽舞」地元高校生が 地域と協働して復興に挑む

岩戸神楽舞は宇部市万倉地区で約260年前に始まったとされ、全13座で構成。日本神話の天の岩戸伝説をモチーフにした「岩戸の舞」が見せ場である。一家相伝の特技を受け継いだ舞い手が毎年12月に万倉東部の伊勢山に祭られる皇大神宮に奉納。1958年、県の無形文化財に指定された。しかし少子高齢化に伴い担い手が少なくなり2008年を最後に中断している。復活を希望する地元有志が2018年8月に復興委員会を設立。神楽舞を次世代に語り継ぐために踏み出した。この魅力的な文化財を失ってはならないと、香川高校生活デザイン科が古くなった衣装や写真を頼りに型紙を製作し、ミシンや手縫いで衣装を製作した。また、地域で行われるつつじまつりのポスター製作や文化財検索アプリの開発、各種コンテストで岩戸神楽舞を盛り上げるよう情報発信を行ってきた。地域や全国に向けてどの世代にも魅力的に情報が伝わるように、ファッションショーの開催やホームページの開設、キャラクターグッズの開発などにむけて力を注いでいる。

## 100周年までのスケジュール

2018

- ・復興委員会参加
- ・衣装製作
- ・アプリ開発
- ・SNS開設
- ・ポスター、チラシ製作

2019

- ・衣装製作
- ・HP開発
- ・キャラクター製作
- ・グッズ製作
- ・PR動画製作

2020

- ・ブレ行事準備
- ・アプリ、HPの維持管理
- ・ポスター、チラシ製作

2021

- ・市制100周年行事準備

## 宇部フロンティア大学附属香川高等学校

文化財復興に取り組むために宇部フロンティア大学附属香川高等学校生活デザイン科で学ぶ内容と結びつけてなにかできることはないかと活動を始めた。本科では、生活全般における衣食住、特に空間や衣装、パソコンデザインなどを学んでいる。ファッションデザイン分野ではファッション造形基礎科目で手縫い・ミシン縫いの基礎、アウターパンツ、甚平、刺繍、ライフデザイン科目ではパッチワーク、編み物、ラッピング、和裁、ファッション造形ではスカート、ジャケット、ワンピース、ドレス、女児服などの知識と技術を身につけている。コンピュータデザイン分野では、イラストレーターやフォトショップを利用し、画像加工や編集技術を身につける。また、ワード、エクセル、パワーポイントなどの技術も身につけ、ポスターやフライヤーなどオリジナル作品を制作している。

活動実績として地域のイベントにおけるゆかたファッションショー参加、市長へのスペイン土産として浴衣製作、高校生宇部市PR動画コンテスト、宇部市ごみ減量アイデアコンテスト、AR製作、COOL CHOICE READERS AWARD2018環境大臣賞受賞など地域と連携した取り組みなどである。この特徴を生かして、1～3年生が一人ひとりの個性を生かして頑張っています。



もっとおもしろくするためのアイデア募集！

